

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	開設より10年が過ぎ、入居者の状況も重度化や身体的な低下などで大きく変化している。	現状に即した理念を職員全員で検討し、作り直しを行う	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回のケア会議、勉強会の機会に職員の意見をだしてもらい皆の思いをまとめた理念の作成 ・法人の代表者へ理念変更の確認を行なう 	3ヶ月
2	35	緊急連絡の模擬や夜間を想定した訓練は実施しておらず、職員全員に非常時の対応の周知徹底が必要	職員全員が非常時の対応について繰り返し学び共通認識を持ち意識づけができる	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡のシュミレーションを行い、職員の意識を高める ・年2回の訓練を年4回行い全ての職員が訓練に参加する ・夜間想定訓練を計画し行う 	6ヶ月
3	10・26	入居者やかぞくより忌憚りの無い意見や要望を収集しホーム運営に反映していく	家族と職員が気軽に交流し意見交換できる場を設定する	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、介護保険の更新時やプランの見直し時期に担当者会議として入居者、家族、職員が話し合う場を設定していく ・更に運営に関してもご意見を頂いていく 	6ヶ月
4	11	隣接デイとの情報共有の交換、支援協力体制を図る	管理者間の状況把握、情報交換を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の利用者、入居者、職員についての情報交換を細やかにを行う ・週1回もしくは月1回の会議、行事のすり合わせを行っていく 	6ヶ月
5	49	入居者から、外出の希望があまり出てきていない。個人の希望に沿って戸外へ出かける支援が出来ていない	個々の思いに寄り添った外出支援を行う 社会性等の継続につなげ活性化を図り入居者に喜んでいただく	<ul style="list-style-type: none"> ・本人様の誕生日月に本人の希望に沿った外出計画を行う ・企画した外出や日常生活の中の買い物、散歩を継続する 	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。